

じんけんしゅうかん じんけんけいはつ てん はし かわ じょうえいかい

# ●人権週間「人権啓発パネル展」・「橋のない川」上映会

じんけんけいはつ てん がつ か にち  
人権啓発パネル展 (12月4日～11日)



えいが はし かわ じょうえい がつ か にち  
映画「橋のない川」上映 (12月4日～11日)

「橋のない川」のパネル展と同時開催したこの上映会は、初めての試みとして人権センターで実施しました。

「橋のない川」は今井正 監督と東 陽一監督が手がけた2つの作品があります。

今回上映したのは、東 陽一監督の作品です。

人権センターのフリースペースにスクリーンを設置し、ゆっくり観ていただきました。



げんさくしゃ すみい  
原作者の住井すゑさんのことば  
じんるい ぼせい ひといじょう ひと  
「人類の母性は、人以上の人を  
うまず、人以下の人をうまず」

そうだね！



かい ほうしゅつばん しゃ てい きょう  
解放出版社提供

愛を知り、人は光を放ち始める

人間の尊厳を掲げて敢然と差別に抗して立ちあがった人々の姿を描いた画のなほ川。この住井すゑの原作を、みすみしい映像の美しさで、本格的に映画化したのが本作品です。監督は東陽一で、毎日映画コンクールを初め、一九九二年度の映画各賞を受賞し、映画として高い評価を獲得しました。

舞台は明治人止の奈良の農村にある渡部高小。そこに生まれた主人公の兄弟、太郎と孝二の成長を描き、真の人間の豊かさと何かが問われながら、全国水平社結成に至るまでの人々の闘いを描きます。

1993年6月10日発行  
税込価格16,274円  
(税抜15,800円)  
VHS/139分/カラー/ステレオ

ねんせいさく  
1992年制作

げんさくしゃ すみ い  
原作者：住井すゑ

かん とく ひがし よういち  
監督：東陽一

しゅつえんしゃ  
出演者

おおたになおこ なかむらたまお  
大谷直子、中村玉緒、

すぎもとつた わたべあつろう  
杉本哲太、渡部篤郎、

たかおかさき たつみたくろう  
高岡早紀、辰巳琢朗ほか

「橋のない川」のビデオはじっくり観たいと思っていたので、今回の取り組みは良かったです。「差別」はいけないと、みんな頭では思っているけど実は違います。「人権を大切に！」とあえて言わなくても良いような世の中になってほしいと思います。「思いやり」を持ち、困っている人には自然と手をさしのべることで人ばかりになってほしいものです。

数十年ぶりに観ました。胸が苦しくなる場面が多いのですが、今は昔とちがいで、賤称語も聞くこともなく、ずいぶん減ったなと思います。このような時代があったことをしっかり知っておくことは大事だなと思いました。いい機会でした。

初めて観ましたが、とても胸が熱くなる映画でした。小学生の時に、桂川町をフィールドワークして学習したことを思い出しました。“この町でもこのようなことがあったのか”と小学生ながらに驚き、くやしい思いをしたことがよみがえってきました。この映画は、いくつも差別の実態がちりばめられており、特に小さな子たちが言われのない差別に抑圧されている姿はつらいものがありました。私も「部落差別はダメ」と思っているけど、女性差別、外国人差別、障害者差別など気づかないところで無意識に行っているやもしれません。今日は、そんな自分を見つめ直す機会になりました。